

中国語版  
中文版



# 彩の国の道徳

家庭用

阅读教材  
面向小学（中年級）

埼玉県教育委員会





ほごしや みなさま  
保護者の皆様へ

かていよう さい くに どうとく かてい がっこう おな してん た こども ゆた ころろ はぐく  
家庭用「彩の国の道徳」は、家庭と学校が同じ視点に立ち、子供たちの豊かな心を育むため  
さくせい  
に作成しました。

こども きはんいしき ゆた ころろ はぐく かてい きょういく たいへんじゅうよう  
子供たちの規範意識や豊かな心を育むためには家庭の教育が大変重要です。

ほんしょ よ ものきょうざい こ いっしょ よ どうじょうじんぶつ こうどう きも  
本書の読み物教材を、お子さんと一緒に読み、登場人物の行動や気持ちについてどんなこと  
かん じぶん にちじょう せいかつ しんけん い たいせつ はな あ  
を感じたか、自分はどうか、日常生活や真剣に生きていくことの大切さなどを話し合ってみて  
ください。

かていよう さい くに どうとく ひびこそだ かつよう さいわ  
この家庭用「彩の国の道徳」を日々の子育てに活用していただければ幸いです。

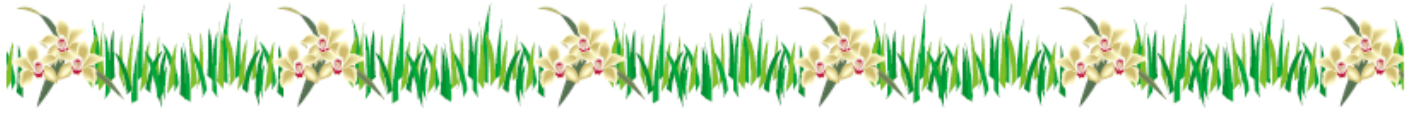
致诸位家长：

面向家庭的《彩之国的道德》，是把家庭和学校放在同一视点，为培养孩子们丰富的情操而制作的。

培养孩子们的规范意识、丰富的情操，家庭的教育是非常重要的。

把此书作为一本教材，和孩子们一起读一读，考虑一下书中人物的行动和心情，想一想如果是自己的话又会如何做，建议大家把“过好日常生活、认真面对人生等”是很重要的这些话题和您的孩子讨论一下。

要是大家能把《彩之国的道德》运用在日常生活中，那么我们会感到非常的欣慰。



かていよう さい くに どうとく  
家庭用「彩の国の道徳」

もくじ  
目次

しょうがっこう ちゅうがくねん む  
🌻 小学校（中学年）向け 🌻



おにぎりとおみそしる	1
しんはつばい 新発売のカード	3
きょう 今日のヒーロー	7
いちりん はな 一輪の花	11
とお わたしのお父さん	15





# 家庭版《彩之国道德》

## 目录

 面向小学（中学年） 

饭团和味噌汤 .....	2
新上市的卡 .....	4
今天的英雄 .....	8
一枝花 .....	12
我的爸爸 .....	16



# おにぎりとおみそしる

- ① 小さな白いおにぎりちい しろと具ぐのないおみそしるひがしにほんだいい じぶん いえ。これは、わたしにとって、わすれる事ことのできないごはんじょ せいかつです。わたしは、東日本大しんさいとき しょくじ ないいで、自分の家にいられなくなり、ひなん所で生活していました。その時の食事の内ようです。
- ② それまでのわたしは、おやつたを食べて、食事しょくじ ときの時は、デザートまでありました。それが、あたり前まえ おもだと思っていました。
- ③ とつぜんうのさいがいを受じょ せいかつけ、ひなん所で生活たをしてみても、わたしが食べていたものが、とてもめぐまれていた事こと きに気がつきました。
- ④ 何日間なんにちかんも、おにぎりとおみそしるだけたを食べていましたが、ふしぎとあれが、食べたいた、これが、食べたいた おもとは、思いませんでした。おなかがすいて、食べる事た ことができることだけで、うれしかったからです。
- ⑤ 白いおにぎりしろから、中なかに梅干しうめぼ はいが入ったおにぎりときになった時は、とてもうれしかったです。
- ⑥ ひなん所じょから、東京とうきょうにいどうした時ときに、はじめて、おかずのついたごはんたを食べました。弟おとうと だいすが大好きな野菜やさいを見て、「食べていいの。」と聞きながら食べていました。とても、うれしそうでした。
- ⑦ 今いまもまだ、自分の家じぶん いえには帰かえれないけれど、テーブルすには、わたしの好きな食べ物た ものがたくさんあります。季節きせつのフルーツも食べられるようになりました。
- ひなん所じょで、テーブルもなくて、おふとんした むをかたづけて、下したを向むいて食べたた小さなおにぎりちいと具ぐのないおみそしるあじ たいの味あじは、ぜっ対たいにわすれませたいん。こまたいっているわたし達たちにごはんたを作つくってくれた人達ひとたちの事こともわすれませたいん。
- ⑧ ひなん所じょにいた時ときは、あまりわらう事ことができませんでした。でも、今いまは、わらってごはんたを食べています。つらい事ことやこわい事こともたくさんありました。今いまは、ごはんを食べて、おふろはいに入はいって、おふとんことにねられる事ことがとてしあわもうれしいし、幸しあわせです。
- ⑧ これからも、食べ物た ものをそまつたにしたのないで、楽たしくごはんを食べていおもきたいと思おもいます。

(児童の作文より)



彩の国の道徳「心の絆」より

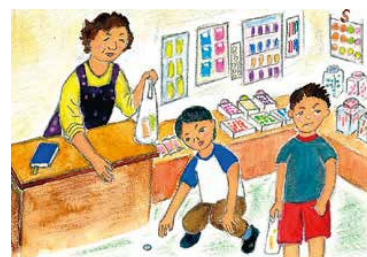
## 饭团和味噌汤

- ① 小小的白米饭团和没有菜的味噌汤。这对于我来说，是永远不能忘记的饭。东日本大地震时，我不能住在自己的家，只能在避难所生活，这是那时候吃的饭的内容。
- ② 在这之前，吃零食，在饭后甚至还有甜点。这对于我来说，都是理所当然的。
- ③ 突然遭受了灾害，在避难所生活之后，我才知道了我以前吃得都是好东西。连续吃了几日饭团和味噌汤，不可思议的是，我竟然没有想吃这个东西、那个东西的想法。因为肚子饿得时候，有东西吃，那就是非常高兴的事。
- ④ 在白米饭团变为米饭中包有梅子的饭团时，真的是非常的高兴。
- ⑤ 从避难所移动到东京时，第一次吃到了配有菜的饭。弟弟看见了非常喜欢吃的蔬菜，在问“可以吃吗？”的同时就开始吃了。显得非常非常的高兴。
- ⑥ 现在，虽然还不能回到自己的家，但是在桌子上，放着许多我喜欢吃的东西。也可以吃到新鲜时令的水果。

在避难所时，没有桌子，被子叠好之后低头吃的那小小的白米饭团和没有任何菜的味噌汤的味道，是绝对不会忘记的。也不会忘记在我们最困难的时候给我们做饭的人们。
- ⑦ 在避难所时，都不敢放声大笑。但是现在，是笑着吃饭。虽然还有许多困难和害怕的事，但是有吃饭、可以洗澡、能在褥子上睡觉，就觉得非常高兴、非常幸福。
- ⑧ 以后，也不能浪费食物，要高兴愉快地吃饭！

## 新発売のカード

- ① 「じゃあ、明日、一時半に三角公園でね。けんちゃんも、ゲームカセット持ってきてね。」
- けんたは親友のいちろうと遊ぶ約束をしていた。
- ② 次の日の日曜日、二人で三角公園のベンチでゲームをして遊んでいると、「けんちゃん、いつものお店で、おやつを買って食べようよ。」といちろうが言った。二人で遊ぶときは、この駄菓子屋でお菓子を買って食べることが多い。
- 二人がジュースとお菓子を持って、レジの方に歩き出したとき、テレビのコマーシャルでやっている新しいカードが目に入った。
- ③ いちろうは、「けんちゃん、これ、新発売のやつだよ。」と小声で言って、足を止めた。
- ④ 「そうだね。ほしいけど、ぼく、今日はこれしかお金持ってきてないんだ。」
- ⑤ 「ねえ。ぼくたちの他に客はいないから、だまってもらっちゃおうよ。」
- ⑥ 「だめだよ。そんなことをしちや。」
- ⑦ 「だいじょうぶ。おばさん、本を読んでもよ。」
- ⑧ 「ええっ。本当にだいじょうぶ…。」
- ⑨ ぼくがしばらく悩んでいると、いちろうはカードを二袋つかみ、自分のポケットに入れていた。
- ⑩ 「これください。」いちろうがお菓子とジュースを差し出し、レジのおばさんに百五十円を払った。ぼくの胸は、ドッキンドッキンと音を立ててなっていた。
- ⑪ 「ぼくも同じです。」と言って、お金を差し出そうとしたが、震えた手から百円玉を床に落としてしまった。
- ⑫ 「大丈夫かい。大事なお金だから落とさないようにね。」
- おばさんの優しい声が胸にささった。





## 新上市的卡

- ① “那我们明天，一点半在三角公园。健，你也把游戏卡带带来”健太和好友一郎约好了明天在一起玩。
- ② 第二天是星期日，正当两人在三角公园的长椅上玩游戏机时，一郎开口说道：“健，我们去经常买零食的店，买零食吃吧”。两人在玩的时候，常常去这个糖果铺买零食吃。就在两人拿了果汁和零食，走向付款台时，看见了在电视广告中播出的新卡。
- ③ “健，你看这是新上市的卡，”一郎小声说着停住了脚步。
- ④ “真的是。非常想买，但是，今天我只带了这些钱。”
- ⑤ “哎，今天除了我们就没有别的顾客，我们不要声张，偷偷的拿走吧。”
- ⑥ “不行，怎能做这样的事。”
- ⑦ “没关系，那个阿姨在看书呢。”
- ⑧ “哎，真的没关系吗？”
- ⑨ 正在我犹豫时，一郎就伸手拿了两袋卡，放到了自己的口袋中。
- ⑩ “我买这个。”一郎拿出果汁和点心，交给收钱的阿姨150日元。我的心，跳得很快，可以听到心脏跳动的声音。
- ⑪ “我也一样”，我边说边拿出了钱，因为手发抖，100日元的硬币掉在了地上。
- ⑫ “没关系吗？，钱很要紧，所以要放好不要掉了。”阿姨温和的声音，像针一样刺入了我的心。

⑬ ぼくたちはおばさんから逃げるようにお店を出て、公園にもどり、

ベンチに座ると、いちろうが一袋のカードをぼくのポケットに入れた。

⑭ その日の夕ご飯。家族で食卓を囲んだ。

「どうしたんだ。今日のけんたは変だな。けんたの好きなハンバーグなのに、それしか食べないのか。」

お父さんの声も耳に入らなかった。みんながテレビを見て笑っていても、ぼくは笑えなかった。ぼくはすぐ布団にもぐりこんだ。

⑮ 次の朝、なかなか起きられなかった。あのカードのことが頭からはなれずに眠れなかったからだ。

⑯ ( やっぱり、このままじゃだめだ。 )

ぼくは、力をふりしぼって起き、昨日の出来事をお母さんに話すことにした。

「お母さん、ぼく、いちろうくんと二人でカードを盗んじゃった…。」全部言い終わらないうちに涙で声が出なくなってしまった。

お母さんは、今までに見たこともないくらい、悲しい顔をしていた。

⑰ 「ぼく… あやまって、返しに行く。」お母さんの目は涙でいっぱいになった。

⑱ その日、学校が終わってから、あの駄菓子屋にお母さんと一緒に謝りに行き、カードを返した。

⑲ 「もう二度とするんじゃないよ。」お婆さんの悲しそうな目が心に重く残った。

彩の国のどうとく「みんななかよし」より

⑬ 我们像逃一样离开阿姨出了店，回到了公园，重新坐到长椅上后，一郎把一袋卡塞到了我的口袋中。

⑭ 这天晚上，家人围着桌子一起吃晚饭。

“怎么了，今天健太有点奇怪啊。今天是健太喜欢的汉堡牛排，就吃这么一点啊？”爸爸的声音我似乎没有听到。大家看电视大笑，我也笑不出来。我立即钻进了被窝。

⑮ 第二天早上，无论如何都起不来。那个卡一直出现在我的脑海中，我怎么样也睡不着。

⑯ （这样的话，实在不行）

我拿出全部的力气起床，把昨天发生的事告诉了妈妈。

“妈妈，我和一郎偷了卡……”还没有全部说完，我就哭着说不出话来了。

妈妈的脸上，是我从未看见过的悲伤。

⑰ “我……去道歉、然后把卡还了。”妈妈的眼睛渐渐充满了泪水。

⑱ 那天，学校放学后，我和妈妈一起去了糖果铺道了歉，并还了卡。

⑲ “再也不能做那样的事了。”看着阿姨悲伤的眼神，我的心变得非常沉重。

きょう

## 今日のヒーロー

① わたしのクラスでは、毎日帰りの会に、今日がんばっていた友達を見つけ、発表し合う「今日のヒーロー」というコーナーがあります。わたしは、洋子さんのことを発表しました。

② それは、昨日の昼休みのことでした。わたしは、雨が降っていたので図書室へ行き、この間から読みたかった本を見つけました。座って読み始めようとしたときです。ななめ奥の方にじっと静かに座っている一年生がいました。時おり、にこっとしながらじっと絵本を見つめています。となりの席を見ると、わたしのクラスの洋子さんでした。わたしは、じゃまをしてはいけないと思い、だまって自分の本を読み始めました。

③ そして、今日も朝から雨だったので、また、図書室に行きました。図書室の入り口で部屋を見わたすと、今日も洋子さんはあの一年生に本を読んであげていました。

( どうして、毎日一年生に本を読んであげているのだろう。 )

④ 教室にもどり、洋子さんにそのわけを聞いてみました。

すると、「わたしは、本を読むことが好きなの。それに、小さい子のお世話も好きだから、一年生に絵本を読んであげようかなと思ってね。」

「そう。一年生も喜ぶね。」

「これからも、小さい子にたくさん本を読んであげたいなど、思っているの。」と目を輝かせながら、話してくれました。

⑤ 帰りの会で、わたしは昨日と今日の洋子さんの様子をクラスのみんなに伝えました。先生は、「人はだれでも必ずいいところがありますよ。みなさん、自分のよいところを見つけてみてくださいね。」とおっしゃいました。

⑥ ( わたしのいいところって何だろう。 )

## 今天的英雄

① 我的班级，在每天的回家班会上，有一个“大家互现发表，找出一个今天非常加油的同学为《今天的英雄》”这个内容，我今天发表的是洋子同学的事迹。

② 那是发生在昨天午休的时候。我因为下雨去了图书室，我发现了一本我想看的书。正当我坐下开始看书时，我发现在斜对面的后面，安静地坐着一个一年级的学生。时不时的笑一下，一直在看着一本小人儿书，旁边的座位坐着的是我们班级的洋子同学。我觉得不应该打搅他们，就默不作声的开始看自己的书。

③ 因为今天又是从早上就开始下雨，我就又去了图书室。在图书室的门口往里看时，今天洋子同学也在给那个一年级的同学念小人儿书。

（为什么每天给一年级的同学念小人儿书呢？）

④ 回到了教室，我问了洋子同学其中的理由。

洋子说“我喜欢看书也喜欢照顾小孩子，所以我就想给一年级的同学念小人儿书。”

“没错，一年级的同学也一定很高兴。”

“以后，我还要继续给小同学们念许多小人儿书。”洋子的眼睛中闪亮着光芒告诉了我这些话。

⑤ 在回家的会上，我把昨天和今天，洋子同学所做的事告诉了班级的同学们。老师说：“每个人一定有自己的优点。请大家好好寻找一下自己的优点。”

⑥ （我的优点是什么呢？）

⑦ 家に帰り、考えていると、「どうしたの、まゆみ。何かあったの。」お母さんが心配そうに話しかけてきました。わたしは、学校であったことや先生の言葉をお母さんに話しました。

⑧ 「まゆみのいいところ、あるわよ。この間、たけしくんが仲間外れになっていることに気づいて、仲間に入れてあげたじゃない。たけしくんのお母さんに『まゆみちゃん、やさしいわね。ありがとう。』って何度も言われたわよ。それに、おばあちゃんが入院したとき、毎日お見舞いに行ってくれたでしょう。まゆみの励ましで、おばあちゃんが元気になったのよ。いいところ、まだまだあるわよ。自分でもさがしてごらんなさい。」

「そうかあ。お母さん、ありがとう。」

⑨ （そういえば、先生に『まゆみさんの気持ちのよいあいさつを聞くと、元気が出るわ』と、ほめられたっけ。それから…。）

⑩ 夕食のとき、お母さんに「わたしのいいところ、他にも見つけたよ。」と話しました。

⑪ 「よかったわね。今日の我が家のヒーローはまゆみに決定！」と言うお母さんの言葉に、わたしは笑顔になりました。

彩の国のどうとく「みんななかよし」より



⑦ 回到家里，正在思考这个问题时，妈妈有点担心地问我“怎么了，真由美。发生了什么事吗？”我把在学校发生的事以及老师讲的话都告诉了妈妈。

⑧ “真由美的优点有很多啊。那一次，注意到大家都在孤立武史，你不是把他拉回到同学中间了。武史的妈妈称赞了好多次，还说：真由美对同学很友好，谢谢！还有，奶奶住院时，你每天去医院探望，因为真由美的鼓励，奶奶又恢复了健康。优点还有很多很多。你自己也找找看。”

“是吗。妈妈，谢谢你！”

⑨ （我记起来了，老师称赞过我：“听见真由美响亮的招呼声，我就会很精神。”之后…）

⑩ 吃晚饭时，我对妈妈说：“我找到了其他的优点。”

⑪ “太好了。我们家今天的英雄决定了——是真由美！”听了妈妈说的话，我开心的笑了。

いちりん はな  
一輪の花

① ねん しづさわえいいち ちあらいじまむら げんざい ふか やし う  
1840年、渋沢栄一は、血洗島村（現在の深谷市）に生まれました。

② えいいち じゅっさい きんじょ なが あいだおも びょうき ひとり く  
栄一が十歳のころのことでした。近所に、長い間重い病気にかかり、たった一人で暮ら  
しているりんという娘がいました。娘の病気は人にうつるとわさされ、だれも訪ねる人  
はいません。しかし、栄一の母えいだけはいつも娘の体のことを心配し、訪ねていまし  
た。

③ きょう えいいち い はは こえ い  
今日も、栄一に「りんさんのところへ行きますよ。」と母が声をかけますが、「ぼくは行  
きたくありません。」といやがりました。しかし、母は栄一の言葉を気にもとめず、  
「そんなことを言わずに出かけましょう。」と誘いました。

むすめ ぐら へ や なか ひとり すわ  
娘は、うす暗い部屋の中で一人ぼつんと座っていました。

はは すこ や さい も き はや げん き  
母が「少しですが、野菜を持って来ましたよ。早く元気にな  
って下さいね。」と言うと、うれしそうな顔をしました。



④ えいいち むすめ よ  
しかし、栄一は娘のそばまで寄りませんでした。

⑤ ひ むすめ れい つく も きもの  
ある日、娘がいつものお礼にと、ぼたもちを作り持ってきました。着物のふところから、  
そっと包みを差し出すと、「おいしいねえ。いいお味よ。」母は、おいしそうにぼたもちを  
ほおばったのです。

⑥ えいいち しょうじ かげ ふたり ようす み むすめ かえ かあ  
栄一は障子の影から、そっと二人の様子を見ていました。娘が帰るとすぐに、「お母さん  
が病気になったらどうするんですか。」と、母を心配しました。

しかし、「あら、そんなことはありませんよ。お医者様は『うつりません。』とおっしゃっ  
たわよ。それに、わたしが食べることによって、あの子はどんなに喜ぶでしょう。」とニコ  
ニコしながら話しました。

⑦ じぶん へ や えいいち はは ことば あたま  
自分の部屋にもどっても、栄一は母の言葉が頭からはなれませんでした。



# 一枝花

- ① 1840年，涉沢荣一出生在血洗岛村（现在的深谷市）。
- ② 那是发生在荣一十岁时的一件事。附近住着一个长期以来一直身患重病、一个人生活的名字叫りん的女孩。因为大家都说，女孩的病会传染，所以谁也不去看她。但是荣一的母亲えい总是担心她的身体，常去看她。
- ③ 今天，妈妈也对荣一说：“去りん小姐那里哟。”我非常不情愿的回答说：“我不想去。”但是妈妈一点都不在意荣一说的话，说到：“不要这样说，我们走吧。”女孩一个人坐在昏暗的房内。妈妈说到：“只有一点点，我给你带来了蔬菜，要快点好起来啊，”这时女孩脸上露出了高兴的笑容。
- ④ 但是，荣一却没有走到女孩的身旁。
- ⑤ 有一天，女孩为了表示感谢，带来了牡丹年糕。从穿的和服的怀中，小心翼翼的拿出了纸包递给了妈妈，“好吃，味道真好”妈妈显得非常喜欢吃样子，大口的吃着。
- ⑥ 荣一透过纸拉窗，悄悄的看着他们两人。女孩回家后，就立刻对妈妈说：“要是妈妈也病了怎么办！”非常担心妈妈。  
但是听了这话妈妈却笑嘻嘻的说：“怎么可能呢，医生说了不会传染的。再说，我吃了她做的年糕，你看那孩子有多高兴啊。”
- ⑦ 即使回到了自己的房间，荣一的脑海中还是忘不了妈妈所说的话。

⑧ このころ、鹿島神社の境内には、井戸がありました。この井戸水は、病気によく効くと言われ、その水を使って神社のとなりで共同風呂が建てられていました。風呂には、村の人だけでなく近所の村からも多くの人が入りに来ていました。

⑨ 「りんさんをお風呂に連れて行きます。」と、母はまた、出かけていきました。

⑩ 母が娘と風呂にやってくると、風呂に入っていた人たちはあわてていなくなりました。

⑪ 母は、そんなことは気にせず、「さあ、背中を流しましょう。」と、娘の背中をやさしく流し始めました。

「おかみさん。ありがとう。」と娘は涙を流しました。

⑫ その後、娘はだれに見送られることなく、亡くなりました。栄一は、娘の墓に一輪の花をたむける母の姿をそっと見つめていました。

⑬ 栄一は、91歳でこの世を去るまで、世の中の困っている人のために働き続けました。それは、優しい母えいの姿が栄一の心の中に生き続けたからです。

彩の国のどうとく「みんななかよし」より

- ⑧ 那个时候，在鹿岛神社的区域内，有一口井。大家都说，这个井水能治百病，利用这个井水，在神社的旁边，建造了一个公共澡堂。不仅是本村人，邻村的人也来这洗澡。
- ⑨ “我带りん小姐去澡堂洗澡。”妈妈说着就又出门去了。
- ⑩ 看见妈妈带着女孩到了澡堂，在那里洗澡的人，都慌忙的离去了。
- ⑪ 妈妈对这样的情形一点也不介意，“来，我给你擦背，”就开始轻轻的给女孩擦起了背。  
“太太，谢谢您！”女孩流下了眼泪。
- ⑫ 后来，女孩在没有任何人送别的情况下去世了。荣一静静地凝视着在女孩墓前供奉上一枝鲜花的母亲的身影。
- ⑬ 荣一，在91岁去世以前，为了世上需要帮助的人们而持续的工作，那是因为温柔的母亲えい的身影一直活在荣一心中的缘故。

とお  
わたしのお父さん

① わたしの家は、米作り農家です。農作業が忙しい時は、わたしも家族の手伝いをしています。

② お父さんには、もう一つ仕事があります。それは、地域の消防団です。地域で火事が起きたとき、消防士さんと一緒に火を消し人を助ける仕事です。だから、家でのおんびりとくつろいでいるときも、夜遅くみんなが寝ているときも、火事で電話がかかってくるとお父さんは急いで出動します。

③ 今日はわたしの誕生日。家族みんなでお祝いをしていると、突然、電話が鳴ったのです。遠くで消防自動車のサイレンの音がします。火事です。お父さんは、大急ぎで消防団としての支度を始めました。  
「今日はわたしの誕生日なんだから、行かないでよ。」  
「ごめんな。困っている人を助けに行かないとな。」お父さんは、走って出て行きました。  
(わたしの誕生日だっていうのに…。)

④ わたしは、やり切れなさで火事の現場に向かったお父さんのことが心配で、ずっと眠れずにいました。

⑤ お父さんが帰って来たのは、十時過ぎ。

⑥ となりの部屋から、お父さんとお母さんの会話が聞こえてきました。

「お帰りなさい。火事どうだったの？」

「家が一軒全焼だったよ。由美よりもっと小さな子がいる家だな。でも、何とか全員無事に助けることはできたんだ。」

「よかったわ。みんなの命が助かって。」

「…これからの生活のことが心配だな。家族みんな生きていかなくちゃならないからな。」



# 我的爸爸

- ① 我的家，是种大米的农家。在农忙时，我也帮助家人，一起劳动。
- ② 我的爸爸，还有另外一个工作。他还是地区的消防团员。在地区发生火灾时，和消防员一起灭火、救人。所以，不管是在家里休息、还是在深夜或是大家都已熟睡之际，只要有发生火灾的电话来，父亲就会立即出动。
- ③ 今天是我的生日，正当家人团聚在一起庆祝时，突然电话就响了。从远处传来消防车的警报声。起火了，爸爸非常紧迫的就开始了作为消防团员的准备。
- “今天是我的生日，不要去了。”
- “对不起，我必须去帮助身处困境的人啊。”爸爸说着就跑着出去了。
- （嗨！今天还是我生日呢！）
- ④ 我因为生日过得不尽兴又担心去火灾现场的爸爸，所以一直没有睡着。
- ⑤ 爸爸回来时，已是晚上十点以后了。
- ⑥ 从隔壁房间传来了爸爸和妈妈的对话。
- “回来了，火灾怎么样了。”
- “一栋房子全烧了。那个家有一个比由美还要小的孩子呢。还好，全家人都得救了。”
- “太好了！全家都没有生命危险。”
- “但是，很担心他们以后的生活。全家人还得要生活下去啊！”

⑦ わたしは起き上がり、ふすまを開けると、お母さんがお父さんの肩をたたいていました。  
「ああ、由美。今日は、由美のお祝いが途中になってしまったね。」お父さんが優しく言っ  
てくれました。

「ううん、いいの。お父さん、農家の仕事で疲れているのに、どうして消防団もやっている  
の。」

わたしは、いつも思っていたことを思い切って聞いてみました。

⑧ お父さんはちょっと考えてから言いました。

「そうだなあ。地域の人がお互いに助け合いながら生活しているから、みんなが安心して暮  
らせるんだよ。少しでも人の役に立てるのは、うれしいことなんだ。みんなのためであり、  
自分のためでもあるんだよ。そして、何より、大事な由美には、いつも元気いっぱい、安  
心して過ごしてほしいからなあ。」

⑨ お父さんの目には、わたしが映っています。お母さんも大きくうなずきました。

⑩ わたしは思わず、お母さんと交代してお父さんの肩を、心をこめてたたき始めました。

彩の国のどうとく「みんななかよし」より

⑦ 我起身，拉开隔门，看见妈妈在轻轻的给爸爸捶肩。“哎，由美。今天你的生日才过一半呢。”爸爸非常温和的说。

“嗯，没有关系。爸爸，种地已经很累了，为什么还要参加消防团呢？”

我下了决心，把我平时一直在想的疑问，问了出来。

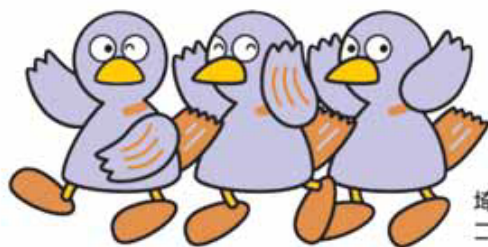
⑧ 爸爸想了想说到：

“是啊，因为地区的人们平时在生活中大家都是互相帮助，所以大家才能安心的生活啊。如果能给人一点帮助，那是非常愉快的事。是为了大家，也是为了自己。最重要的是想让我们最疼爱的由美，一直能够安心，健康的生活啊！”

⑨ 在爸爸的眼中，我看到了自己。妈妈也拼命的点头。

⑩ 我不知不觉的替换了妈妈，全心全意的开始替爸爸捶肩。





埼玉県のマスコット  
コバトン